

情報公開文書

【研究課題】 日本透析医学会統計調査

【研究期間】 学会調査終了まで

【研究目的】 血液浄化法（血液透析法、腹膜透析法、血液濾過法、血液吸着法、血漿交換法等）を受けている患者に対する病因、病態についての研究調査を行い、発表、知識の交換、情報の提供等を行うことによって、透析医学に関する研究の進歩と知識の普及を図り、もって学術の発展に寄与することを目的とする。

【対象患者】

- (ア) 当該施設において慢性透析治療を受けているすべての患者
- (イ) 新たに透析治療を開始したすべての患者
- (ウ) 当該施設で透析療法を受けたが、死亡、移植その他の理由で透析療法を脱したすべての患者
- (エ) 急性腎障害で透析治療を2ヶ月以内に離脱した患者は除外

【収集する情報】

- (ア) 透析施設に関する情報
 - ① 透析施設の設置者、規模、透析コンソール数
 - ② 透析液水質管理状況他
 - ③ 治療法別年末患者数、新規導入患者数、調査年死亡患者数
- (イ) 患者個人に関する情報
 - ① 患者識別因子（氏名、生年月日他）・・・匿名化の対象因子
 - ② 患者属性（性別、原疾患、治療条件、合併病態他）
 - ③ 血液検査データ
- (ウ) 施設に関する情報、患者に関する情報は、調査年度により調査目的は若干異なるが、いずれの場合でも個人情報保護される。

【問い合わせ先】

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター
責任者：腎臓内科 院長補佐 赤堀利行
住所：静岡県掛川市菖蒲ヶ池1番地の1
電話：0537-21-5555（8:30～17:00）

透析療法を受けている皆さまにお願い

一般社団法人日本透析医学会は、透析医療機関を通じて透析療法の現状をまとめた統計資料を作成しています。この資料は、皆さまの透析治療の質を高めるために作成されるガイドラインや、透析医療にかかわる適切な保険診療設定、施設内での診療、教育にも利用されています。資料の一部は、「わが国の慢性透析療法の現況」としてまとめられ、日本透析医学会ホームページでも公開しております。このように本学会の統計資料は、医学的側面だけでなく社会的側面からもわが国の透析医療の質の向上に大きく寄与しています。

この統計資料では、透析療法を受けている皆さまの性別、年齢、導入年月、原疾患、県名等が登録され、毎年一回、12月31日時点での治療方法や転帰、検査データが調査されています。調査は国の倫理指針に則り、患者氏名や生月、生日は暗号化処理された患者識別コードに転換され実施されます。集められたデータから皆様の個人情報に再現することは不可能ですのでご安心下さい。この患者情報の匿名化強化の方法については日本透析医学会の倫理委員会においても承認されています。（調査の研究計画書や倫理審査結果もホームページで公開しております）

日本透析医学会は、皆様の個人情報・プライバシーの保護には十分配慮しつつ、透析医療の質を向上させるために引き続き努力を続けてまいりますので、今回の調査につきましてご理解下さいますようお願い申し上げます。

一般社団法人日本透析医学会

理事長 中元秀友 統計調査委員長 新田孝作

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-38-21 アラミドビル 2F

TEL : 03-5800-0790 FAX : 03-5800-0787

中東遠総合医療センター 腎臓内科 赤堀利行